

平成28年9月20日

## 文化庁 国立近現代建築資料館 企画展示について

文化庁は、平成24年11月に設置した国立近現代建築資料館において、我が国の近現代における著名な建築・建築家の建築資料に関する、収集、保管、展示、調査研究等の事業を行っています。

このたび、我が国の近現代建築資料が持つ文化的・芸術的・学術的価値を広く発信する取組として、企画展示「建築と社会を結ぶ—大高正人の方法」を開催しますのでお知らせします（別添資料）。

### 【開催概要】

- ・ **名 称**：建築と社会を結ぶ—大高正人の方法
- ・ **会 期**：平成28年10月26日（水）～平成29年2月5日（日）
- ・ **会 場**：文化庁国立近現代建築資料館  
（東京都文京区湯島4-6-15 湯島地方合同庁舎内）
- ・ **開館時間**：10：00～16：30
- ・ **休 館 日**：平成28年11月12日（土），12月29日（木）～平成29年1月3日（火）
- ・ **主 催**：文化庁
- ・ **企 画**：大高正人展実行委員会，京都工芸繊維大学
- ・ **協 力**：福島県三春町，広島市立大学，公益財団法人東京都公園協会
  
- ・ **シンポジウム1**：平成28年11月12日（土）14：00～17：00  
テーマ＝「広島基町高層アパートと大高正人」  
会 場＝広島市立基町小学校体育館（広島市中区基町20-2）  
登 壇＝石丸紀興（元広島大学教授），藤本昌也（現代計画研究所代表）他  
司 会＝松隈洋（京都工芸繊維大学教授）  
定 員＝200名（申込不要，参加費無料）
  
- ・ **シンポジウム2**：平成28年12月10日（土）15：00～18：00  
テーマ＝「大高正人と三春のまちづくり」  
会 場＝三春交流館 まほらホール（福島県田村郡三春町字大町191）  
登 壇＝伊藤寛（前三春町長），岩田司（東北大学教授），内藤忠（元三春町商工会長），  
長澤悟（東洋大学名誉教授，三春町学校建築研究会）

司 会＝中島直人（東京大学准教授）

演 奏＝山田実紀子（バイオリン），東郷まどか（ピアノ）

定 員＝２００名（申込不要，参加費無料）

・ シンポジウム３：平成２９年１月２１日（土）１５：００～１７：００

テーマ＝「大高正人の出発点を語る」

会 場＝全日本海員組合本部 地下大会議室（東京都港区六本木７－１５－２６）

登 壇＝曾我部昌史（神奈川大学教授），藤原徹平（横浜国立大学大学院准教授），  
増山敏夫（すぺーす ますやま代表）他

司 会＝野沢正光（野沢正光建築工房代表）

定 員＝１２０名（申込不要，参加費無料）

※ テーマ，登壇者は変更されることがあります。

申込方法等の詳細については，国立近現代建築資料館のホームページで御案内します。

【プレス向け展示説明会等について】

一般公開に先立ち，平成２８年１０月２５日（火）に次の日程でプレス向け展示説明会等を開催します。

取材を御希望される方は別紙の取材申込書を１０月２４日（月）１５：００までにＦＡＸで国立近現代建築資料館にお送りください（ＦＡＸ：０３－３８１２－３４０７）。

１２：３０～１３：３０ プレス向け展示説明会

１４：００～１４：１５ 開会式（資料室ロビー）

終了後，関係者内覧会

＜担当＞ 文化庁長官官房政策課

課長 杉浦 久弘（内線 2803）

課長補佐 土居 孝一（内線 2804）

資料館係長 鳥居 省司

電話：03－5253－4111（代表）

03－3812－3401（資料館係直通）

E-mail：nama@bunka.go.jp

### 【展覧会のみどころ】

「建築と社会を結ぶ—大高正人の方法」では、国立近現代建築資料館で行ってきた大高正人資料の調査を基に、図面・スケッチ・写真・書簡等の資料を通して、大高正人の建築活動の全体像を紹介します。

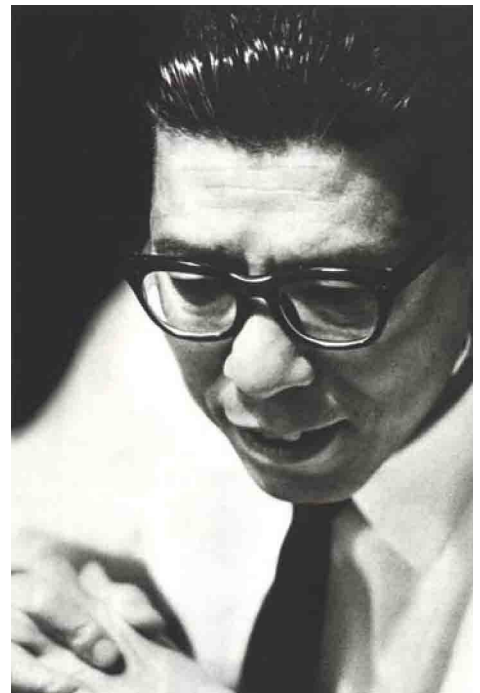
大高は、目標とする建築のテーマとして「PAU」、すなわち Prefabrication, Art & Architecture, Urbanism の統合を掲げ、建築部材の開発から都市計画に至るまで、幅広い仕事に取り組みました。本展では、大高が目指した「PAU」とは何か、を考えながら、大高が「PAU」に取り組んだ仕事の軌跡を、年代順に追いながら展示します。学生時代から前川國男建築設計事務所を経て独立する頃までの知られざるスケッチ群や、建設過程を記録した写真などには、初公開の資料が多く含まれます。また、あまり知られることのなかった後期の都市計画への取組も、図面や報告書等を通して紹介します。今回は建築資料館初の試みとして、本展のために撮り下ろした大高の出身地である福島県三春町作品映像と、協力大学の学生の制作による模型を展示します。

大高が取り組んだ普遍的なテーマは、現代においても大きな問いを私たちに投げかけています。

### 【建築家紹介】

大高正人（おおたかまさと／OTAKA Masato）

1923年福島県三春町生まれ。47年東京大学第二工学部建築学科卒業。49年前川國男建築設計事務所入所。60年世界デザイン会議にメタボリズムグループの一員として参加。62年大高建築設計事務所設立。建築のみならず都市計画の分野でも建築界を牽引した。2010年、87歳で逝去。

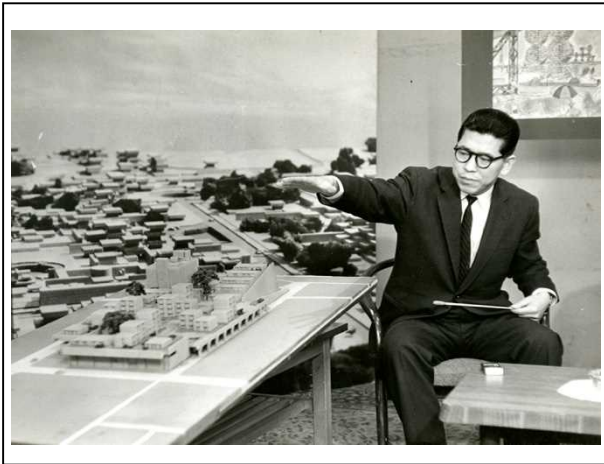


#### <主な作品>

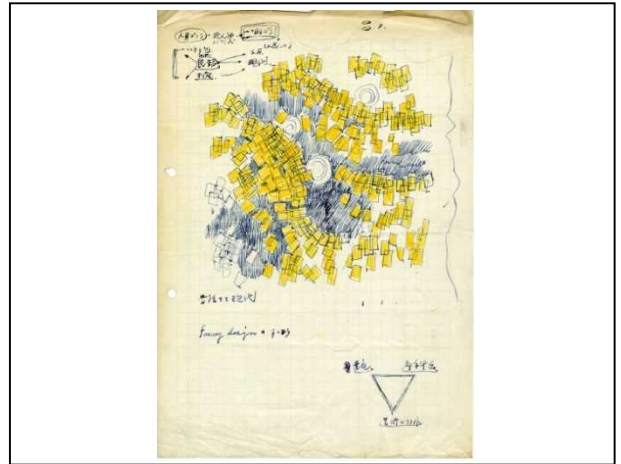
1962	片岡農業協同組合
1965	花泉農協会館
1967	千葉県文化会館
1965－86	坂出市人工土地
1968	千葉県立中央図書館
1969	栃木県庁舎議会棟
1968－78	広島市基町団地
1977－2000	多摩センター駅前広場・ペデストリアンデッキ
1979－2002	みなとみらい21
1982	三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館
2003	三春交流館・まほらホール

※建築作品は竣工年、複数期に渡る作品と都市計画は計画開始年から完成年を記載

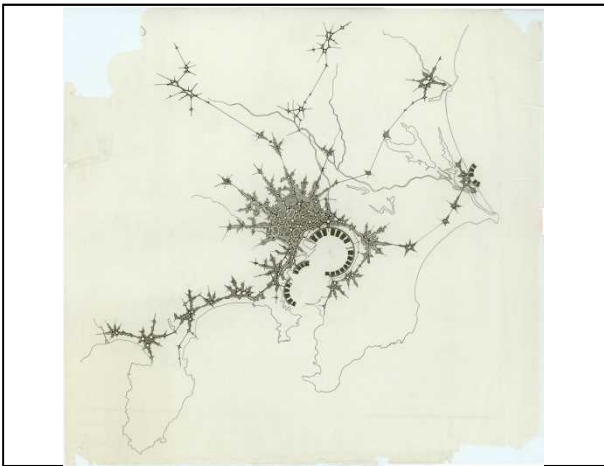
【広報用図版】



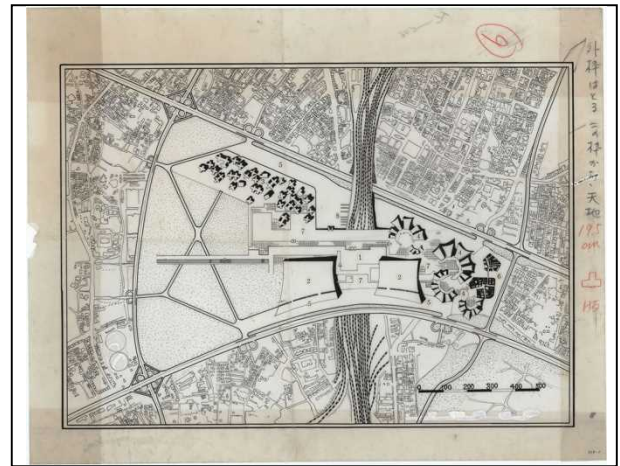
(1) プロフィール写真  
坂出人工土地の説明をする大高正人 1966 年



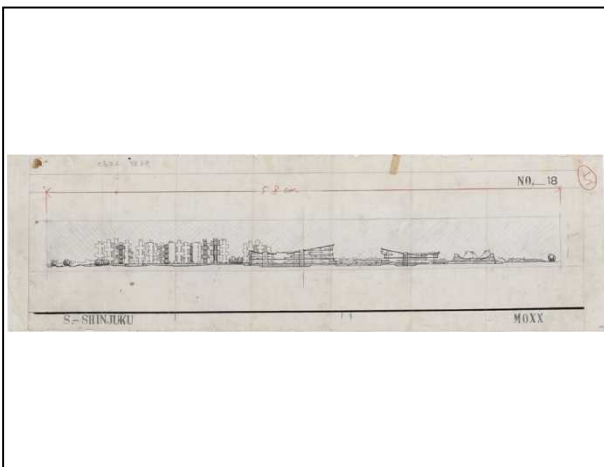
(2) 大高正人直筆のPAU スケッチ



(3) 東京湾上都市提案 1959 年



(4) 群造形による新宿副都心計画 1960 年  
槇文彦と協働



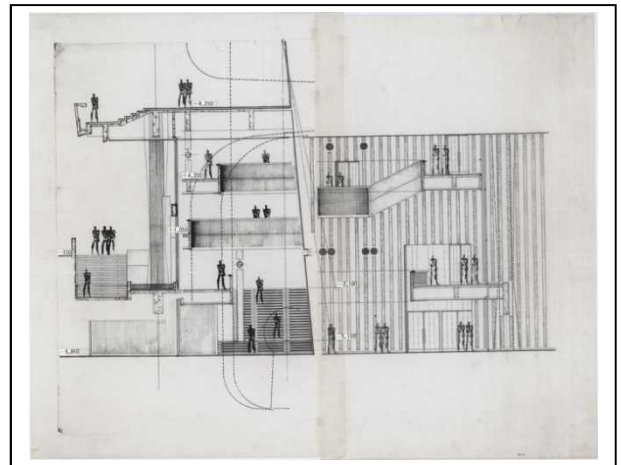
(5) 群造形による新宿副都心計画 1960 年



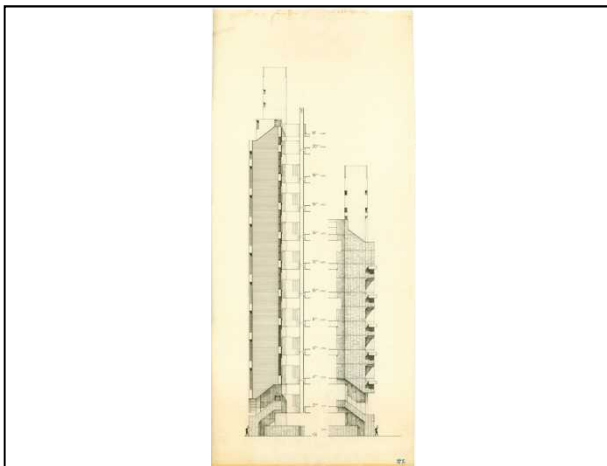
(6) 農協建築構想のための日本地図 1964 年



(7) 栃木県庁舎議会棟 構造模型 1966 年頃  
撮影：石崎治



(8) 千葉県文化会館 ホワイエ展開図 1967 年



(9) 広島市基町団地 階段室立面図 1973 年

全て国立近現代建築資料館所蔵

広報用図版を御入り用の方は、政策課資料館係（国立近現代建築資料館）まで御連絡ください。

文化庁 国立近現代建築資料館

## 企画展示「建築と社会を結ぶ―大高正人の方法」

### プレス向け展示説明会・取材申込書

報道関係者を対象に、次の日程で展示説明会を開催します。

平成28年10月25日（火）12：30～13：30

参加御希望の方は、下記に御記入の上、10月24日（月）15：00までに

FAX 03-3812-3407へ御返信ください。

	会社名・所属	御氏名
1		
2		
3		

#### （取材要領）

- 湯島地方合同庁舎の正門から御入構ください。一般駐車場は駐車台数が限られますので、できるだけ公共交通機関を御利用ください。
- 12：00から、国立近現代建築資料館エントランス前において受付を行います。資料室では、12：30より展示品等の説明を開始いたします。
- 社名が記載された腕章を御着用ください。
- 会場での写真撮影は、展示品保護・管理のため、ストロボの使用や接写撮影は御遠慮ください。また、撮影禁止マークのついている展示物の撮影は御遠慮ください。
- 取材に当たっては職員の指示に従ってください。



（問合せ先） 文化庁国立近現代建築資料館 鳥居 三橋

電話 03-3812-3401 / FAX 03-3812-3407



展覧会期 | Period

2016

10.26[水]

2017

2.5[日]

開館時間 | Open hours

10:00 ▶ 16:30

休館日 | Closed

11/12[土]、  
12/29[木] ~  
1/3[火]

主催：文化庁

企画：大高正人展実行委員会、

京都工芸繊維大学

協力：福島県三春町、

広島市立大学、

公益財団法人東京都公園協会

Organized by

the Agency for Cultural Affairs

Planned by

the OTAKA Masato Exhibition

Executive Committee and

Kyoto Institute of Technology,

Supported by

Miharu City,

Hiroshima City University, and

the Tokyo Metropolitan Park Association

会場：

文化庁国立近現代建築資料館

Venue:

National Archives of Modern Architecture,

the Agency for Cultural Affairs

図版

上：千葉県文化会館 ホワイエ展開図 1967年

下：東京湾上都市提案 1959年

PAU

*Prefabrication*

*Art + Architecture*

*Urbanism*

*M. Otaka  
大高正人*

# 建築と社会を結ぶ 大高正人の方法

Uniting Architecture and Society  
The Approach of OTAKA Masato

文化庁

国立近現代建築資料館

National Archives of Modern Architecture, Agency for Cultural Affairs



# PAU

## 建築と社会を結ぶ 大高正人の方法

Uniting Architecture and Society  
The Approach of OTAKA Masato

### イベント | Events

#### シンポジウム 1

##### 広島基町高層アパートと大高正人

主催：広島市立大学、広島市中区役所

共催：文化庁

日時：2016年11月12日(土)14:00～17:00

会場：広島市立基町小学校体育館  
(広島市中区基町20-2)

登壇：石丸紀興(元広島大学教授)、  
藤本昌也(現代計画研究所代表)他

司会：松隈洋(京都工芸繊維大学教授)

定員：200名(申込不要・参加費無料)

当日シンポジウムに先立ち、基町高層アパートの  
見学会(要申込・参加費無料)を予定しています。

#### シンポジウム 2

##### 大高正人と三春のまちづくり

主催：文化庁、福島県三春町

日時：2016年12月10日(土)15:00～18:00

会場：三春交流館 まはらホール  
(福島県田村郡三春町字大町191)

登壇：伊藤寛(前三春町長)、  
岩田司(東北大学教授)、内藤忠(元三春町商工会長)、  
長澤悟(東洋大学名誉教授、  
三春町学校建築研究会)

司会：中島直人(東京大学准教授)

演奏：山田実紀子(バイオリン)、  
東郷まどか(ピアノ)

定員：200名(申込不要・参加費無料)

当日シンポジウムに先立ち、三春町にある  
大高正人設計建築の見学会  
(要申込・参加費無料)を予定しています。

#### シンポジウム 3

##### 大高正人の出発点を語る

主催：文化庁

日時：2017年1月21日(土)15:00～17:00

会場：全日本海員組合本部 地下大会議室  
(東京都港区六本木7-15-26)

登壇：曾我部昌史(神奈川大学教授)、  
藤原徹平(横浜国立大学大学院准教授)、

増山敏夫(すべーす ますや代表)他

司会：野沢正光(野沢正光建築工房代表)

定員：120名

当日シンポジウムに先立ち、全日本海員組合本部の  
見学会(要申込・参加費無料)を予定しています。

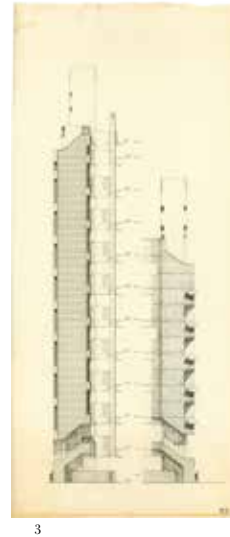
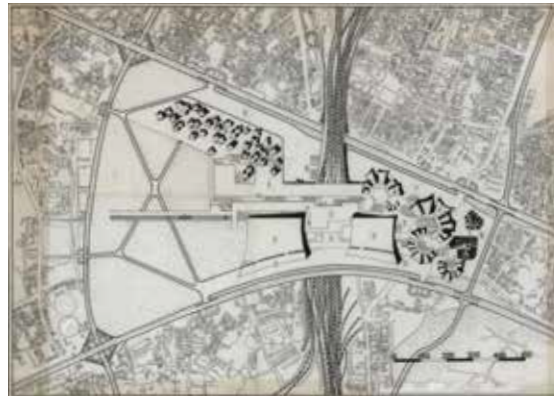
#### ギャラリートーク

会期中に大高建築設計事務所元所員等に  
よるギャラリートークを実施します。

イベントの詳細や申し込み方法等については、  
当館ホームページでご確認ください。  
<http://nama.bunka.go.jp/>

建築家・大高正人(1923-2010年)は、戦時下の1944年に東京帝国大学建築学科に入学、外来講師の前川國男(1905-86年)に接したことがきっかけで、当時事務所があった前川の自邸へ通い始めます。卒業と同時に正式所員となった大高は、戦後派スタッフの中心として《プレモス72型》や《晴海高層アパート》、《東京文化会館》等を担当して独立、以後、半世紀に及び建築家として活動しました。大高は、目標とする建築のテーマとして「PAU (Prefabrication / Art & Architecture / Urbanism)」を掲げ、工業化部材の開発から都市スケールの計画や町づくりまで、幅広い仕事に取り組みました。そこには、建築が生活環境を支える社会的な共有財産となることを目指した大高の建築思想と倫理が貫かれています。この展覧会では、大高正人の仕事の全体像を紹介し、彼の求めた建築の可能性に迫ります。

Architect OTAKA Masato (1923-2010) entered the Architecture Department of the Tokyo Imperial University in the midst of war in 1944. His interactions there with MAYEKAWA Kunio (1905-86), who was then a visiting instructor, led him to frequent Mayekawa's house where the architect had set up office. Otaka formally joined Maekawa's office upon graduating from university, and he was assigned to work on projects such as the "PREMOS Model #72", "Harumi Apartments", and "Tokyo Bunka Kaikan" as a core member of the office's postwar staff. He later established his own office and went on to build a career as an architect that spanned half a century. Otaka, who advanced the concept of "PAU (Prefabrication / Art & Architecture / Urbanism)" as a theme that he wanted his architecture to embody, engaged in a broad range of work from the development of industrial components to the design of urban-scale plans and town planning projects. Through all his work there runs an architectural philosophy and ethics of an architect who was striving to make architecture a common property of society that supported living environments. This exhibition lays out the full spectrum of OTAKA Masato's oeuvre and delves into the possibilities of the architecture he sought to realize.



1. 群造形による新宿副都心計画  
横文彦と協働 1960年
2. 群造形による新宿副都心計画
3. 広島市基町団地 階段室立面図 1973年
4. 農協建築構想のための日本地図 1964年

5. 大高正人直筆のPAUスケッチ
6. 栃木県庁舎議会棟 構造模型 1966年頃  
撮影：石崎治
7. 坂出人工土地の説明をする大高正人 1966年  
※所蔵：文化庁国立近現代建築資料館

### 入場方法 | Entry

国立近現代建築資料館への入場方法は2つあります。

There are two ways of entering the National Archives of Modern Architecture.

#### A. 展覧会のみ観覧[平日のみ利用可]

湯島地方合同庁舎正門よりご入館ください。入館料無料。

都立旧岩崎庭園には入場できません。

To view the exhibition only (open on weekdays only): Please enter from the main gate of the Yushima Local Common Government Offices. Admission is free. Visitors are not allowed entry into the Tokyo Metropolitan Kyu-Iwasaki-tei Garden.

#### B. 都立旧岩崎庭園と同時観覧

都立旧岩崎庭園よりご入館ください。

旧岩崎庭園入園料(一般400円)が必要となります。

To view both the exhibition and Kyu-Iwasaki-tei Gardens: The National Archives of Modern Architecture may be entered from the Kyu-Iwasaki-tei Gardens. (admission 400 yen)

### アクセス | Directions

千代田線「湯島」1番出口より徒歩8分

8-min. walk from Exit 1 of Yushima Station (Tokyo Metro Chiyoda Line)

会場：文化庁国立近現代建築資料館

Venue: National Archives of Modern Architecture,  
the Agency for Cultural Affairs

〒113-8553 東京都文京区湯島4-6-15 | TEL: 03-3812-3401 | FAX: 03-3812-3407  
4-6-15 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8553, Japan  
<http://nama.bunka.go.jp>

